

令和7年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人 武蔵野すこやか
アドレス（HP、X、FB等）	Hoshida-12@jcom.zaq.ne.jp
事業の名称	公開講座「認知症予防の最前線」
事業の目標	1. 認知症についての理解促進 2. 認知症予防についての研修と普及
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	1, 令和7年9月11日（木） 2, 武蔵野プレイス フォーラム 3, 参加者 会員並びに一般市民 86名参加 4, 内容 第1部 講演 講師 武蔵野赤十字病院神経内科部長認知症疾患医療センター長 鎌田 智幸氏 第2部 映画「ぼけますからよろしくお願いします。」 上記のとおり認知症についての全般的説明と再新薬の研究及び介護の実態につき、研修・普及を図った
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	1, 事業の成果 上記のとおり多くの参加者による充実した研修により認知症全般についての理解促進と介護実態についての研修を推進した。特に再新薬レカネマブ、ドナネマブの治療状況を研修 2, 第1部の講演は13時30分～15時、第2部は15時15分～16時50分と長時間にわたり実施 3, 参加者はスタッフ9名、一般参加者77名の合計86名により、スムーズに運営できた。 4, 武蔵野市高齢者支援課の協力により、小冊子①みんなで知ろう認知症、②マイノート（エンディングノート）の配付により認知症全般の周知を図れた
目標の達成度 （自己評価）	☒ 1. 達成できた ☐ 3. あまり達成できなかった ☐ 2. ある程度達成できた ☐ 4. 達成できなかった

令和7年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	1, 公益性の増進について 会員に加え、市民の多くの参加により図れた 2, 団体の発展性 会員の協力によりスムーズな運営が図れた他、アンケート実施により数名の法人参加加入が達成できた。 3, 実効性、補助金を除く資金調達の達成度 参加者の資料代及び法人の自己資金により達成できた。並びにDVDの放映料について、相手方の協力を得られ、減額できた。
今後の課題・抱負	1, 今後の課題 益々激増する認知症患者の対応は喫緊の課題であり、再新薬の改善にとどまらず、非薬理的手法の普及充実による対策が必要である。 2, 抱負 一層の研修と普及により、認知症問題への対応充実を図りたい。
活動状況について	
Empty space for activity status	